



共済福祉会だより

社会福祉法人 共済福祉会 発行責任者 石津博士

住所 静岡県田方郡函南町平井717-2 TEL 055(978)4100

ホームページ <http://kyosaifukushikai.jp/>

e-mail: info@kyosaifukushikai.jp



沼津市西浦より望む富士山(2009.1)

年頭にあたって

理事長 石津博士



新年明けましておめでとうございます。
旧年中私ども共済福祉会に賜りましたご厚情に感謝申し上げますとともに本年も引き続きよろしくお願い致します。

さて、昨年も厳しい環境の中ではありませんでしたが、前号の「福祉会だより」で報告のとおり、上半期の事業運営は計画値を上回る順調な結果となりました。これは、多くの利用者および関係各位皆様のご協力のおかげであります。心より感謝しております。

一方、社会的には、米国のサブプライムローンに端を発する世界的な金融危機による急激な景気後退は日本も同様であり、全体的に沈滞ムードが漂う年明けとなりました。
一月五日から開催されています通常国会では景気回復策、雇用対策、社会保障問題、更には財源問題など

多岐に亘った課題が山積しているようであります。このことは、対処療法策は別として、根本的にはこの国のあり方が問われているのではと思えます。

その一つとして特に私たちに関わります社会福祉関係においては、「高負担・高福祉」なのかどうか、負担とサービス提供度合いのあり方も合わせて問われています。

なお、次年度予算で政府は、毎年二千二百億円の社会保障費削減方針を凍結し必要な歳出は行うとのこと、介護報酬単価もトータルとして三%増額を前提に具体的検討が深められているようであり、若干明るい展望がもてるのではと思っております。

今年も厳しい年であると想定されますが、私たちは常に笑顔で利用者の希望に答え、より良い介護サービスの充実に全力を傾けていきます。そのために、介護を担う私たちが夢を持ってその実現に努力することを具体化するビジョン作りを行ってききました。それを全員が認識し更に良いサービス向上につなげていくことを決意しました。

利用者・ご家族の皆さんにもご理解とご協力をお願いするところです。常に向上心を持って全員が頑張りますので今年もよろしく願います。

高齢者福祉部

時代が求めるもの

高齢者福祉部長 宮本良美

あけましておめでとうござ
います。皆様方にとりまして
あたらしい一年が平和で穏や
かな年となりますようにご祈
念いたします。



さて、最近の福祉を取り巻
く報道を見ておきますと、介
護に対し従来よりも一般の
方々の関心が非常に高まって
きているように思います。

行政が制度や仕組みをただ
作ればよかった時代から、「市
民一人ひとりが主体的に参加
し、専門家がそれを支えてい
く」という時代が変わってき
ています。

地域福祉の推進及び福祉水
準の維持には、一定の経済成
長が欠かせないと考えます。
そのためには、若者や女性の

労働市場への参加を促すこと
などが重要です。同時に、働
き手の質的な向上など、就職
後の能力開発を通じた人材育
成により、技術を進歩させる
ことも大切であると考えます。

高齢者にとつての安心は、「
住まいの安心」「見守りの安
心」「食事の安心」「介護の安
心」「医療の安心」などが挙げ
られますが、地域を核とした
世代間交流という形で浸透し
ていけば、地域の方々に広く
「安心」を提供できるのでは
ないかと考えます。

介護はやりがいがあり、人
間的な成長ができる仕事であ
ります。介護に重要なことは
「ありがたこの言葉」「笑いを
忘れないこと」であり、それ
があれば「あたたかい、幸せ
な介護ができる」と考えてい
ます。

今年も、ハートが通じ合え
る介護を目指し、職員自らが
問いかけ、互いに確認しあい
ながら、全力で取り組んで参
ります。

年賀の集い

伊豆白寿園
ケアワーカー 内田清敬



新年、あけましておめでと
うございます。今年の元日は、
素晴らしい天気恵まれ、清
らかな心と元気な体を頂いた
様な活動のスタートにふさわ
しい日となりました。

伊豆白寿園では、恒例の「年
賀の集い」を一月一日に行い
ました。利用者の方々にお正
月の雰囲気を感じていただく
ために、お神楽、巫女の舞い、
サイコロゲーム等さまざまな
出し物を用意し、利用者の方
と一緒に楽しんでました。
お神楽に頭を清めてもらい、
きれいな衣装をつけた巫女の
お祓いの舞いを見たあと、利
用者の皆さん参加のサイコロ
ゲームでは、日頃仲良しの職

員をコマにして、早く上がら
せてあげたくて大変な盛り上
がりとなりました。

又、この宴のために特別用
意されたおせちには、昔なが
らのだて巻きや羊羹を盛り合
わせ、職員の説明に、昔のべ

クリスマス・忘年会

かなみ老人デイサービス
ケアワーカー 田邊竜太

かなみ老人デイサービス
では、一二月二日、二三日
に年末恒例のクリスマス・忘
年会を開催しました。



一日目は職員による、胡弓
とキーボードの演奏、利用者
のハンドベルによるクリスマ
スソング演奏を行い、二日目

テラン主婦の皆さんは、納得
されていました。その後、お
雑煮をいただいた年最初の
祝となりました。

今年一年利用者の方々、職
員が健康に過ごせますように
願っています。

は演芸と手品のボランティア
を招待し、演芸会を開催しま
した。そして両日とも、毎回、
大変盛り上がるビンゴ大会を
行いました。

演奏会では、職員をつたない
演奏にも、みんなの温かい
拍手が。演芸会では、女性歌
手の曲目毎の衣装替えに大笑
い、クライマックスに向かう
につれて大仕掛けになって行
く手品に大きな歓声をいただ
きました。

ビンゴ大会では、あつとい
う間にビンゴになり、得意顔
で一等賞を獲得方から、真つ
先にリーチ、また、三列リー
チが揃ったにも関わらず、最
後の一つの数字が出ず、やつ
との思いで一〇等賞の方がい
たりと、悲喜こもごも。

最後はクリスマスプレゼント
トとして、全員にプレゼント
をお配りして皆さんの笑顔で
行事を終える事が出来ました。

障害者福祉部

新年を迎えて

障害者福祉部長 矢野 秀男



平成二十一年も幕明けし、よい年をお迎えいただけましたでしょうか。

当施設を利用される皆様は、ご自宅に戻られご家族と正月を迎えられた方や、センターにて正月を迎えられた方などさまざまな過ごし方をなされたことと思います。

昨年は大不況の中、原油価格の高騰、株価の暴落、景気の低迷、人員削減、年金記録改ざんや中国餃子での食中毒事件、秋葉原での無差別殺人事件などいやらニュースが多かった年であったと思います。しかし、悪いことばかりではなく、八月に行われた北京オリンピックでは、日本選手団が金メダル九個、銀メダル六個、銅メダル一〇個、計二五個を獲得し、なかでも水泳の北島

選手の金メダルや女子のソフトボール初めての金メダルなどは大きな感動を受けました。

さらに日本人学者四人の方々のノーベル賞受賞も世界的な貢献があったと思います。

正月には箱根駅伝で箱根の山登りに挑戦した東洋大学の一年生がスパーヒーローとして活躍し見事に往路優勝。復路でもその勢いに乗って総合優勝を成し遂げたことは見ていた者すべてに感動を与えてくれたことでしょう。しかし、つらい上り坂も一人のヒーローによって栄光を手にしたものではなく、一人ひとりが日ごろからのつらい練習に打ち勝ちチーム全体の総合力を上げたこと。そして周りの人々に支えられた事への感謝の気持ちを持っていただくことを選手が話していた事に新年のすがすがしさを感じました。

私たち共済福祉会の各事業所も感謝の気持ちをもって皆様に喜んでいただける支援に努めてまいります。

初詣

伊豆リハビリテーションセンター
ケアワーカー 芹澤 美樹

『新年あけまして、おめでとう。今年もよろしく』新年を迎えてあちらこちらで交わされる言葉を聞きながら七草を過ぎたとはいえ、お正月ムードの一月八日、毎年恒例の初詣に利用者と一緒に三嶋大社に行ってきました。昨年からは不況の嵐が吹き荒れ暗いニュー

伊豆ライフケアホームの忘年会

伊豆ライフケアホーム

ケアワーカー 山下 貴志

二月一九日、一六時から二時間に渡り恒例の利用者忘年会が開催されました。

飾りつけや司会進行の打ち合わせ等の事前準備から利用者の方々にも参加して頂き、当日が近づくとつれて待ち遠しい雰囲気になっていました。

当日は、利用者のご家族や日頃お世話になっているボランティアの方等を含め、総勢一二七名が参加されました。



食事は散らし寿司・フライドチキン・ピザ・オードブル等、外部から注文した品もあり、配達の方がクリスマス間近の為サンタクロースの格好で届けて下さり、皆大喜びでした。恒例の新人職員による出し



イスの多い年末でした。利用者も多くの参拝者も、

何をお祈りしたのでしょいか。

私も手を合わせ家族の健康と、利用者の健康をお祈りして、最後に…もう一つ、今年こそ人生最良の年になる事をお願いしてきました。

参拝を済ませ、甘酒やおでんを頂きながら清々しい気持ちの中、新年に向け新しい気持ちで“welcome change”世の中が良い方向に変化して欲しいと願わずにはいられません。

物では、仮装して「羞恥心」や「エドはるみ」の物まねを行い、拍手喝采でした。

ゲームは職員の幼少時代の写真を大型スクリーンに映し出して誰かを当てるクイズ。利用者は職員の顔を見回して解答しました。面影があると

か昔は可愛かった等、笑顔で会話をされる様子が印象に残りました。

職員は利用者の生活を支援していく中で、利用者の笑顔に励まされお互いに支えあう日々を過ごしています。

次回も、皆元気で参加できる忘年会になるよう努めたいです。

冬は、月の夜

障害者福祉部担当部長

佐々木省三

東北生まれの私は、冬の寒さはそれほど嫌いではありません。仙台で見た、街灯に照らされて降る雪の美しさとしんと降り積もる雪の夜の静寂さは、非日常を感じさせてくれます。寒い夜、満月に照らされてできる自分の影は、月の光がこんなにも明るいのかと気づかせてくれます。

福祉の現場には、たくさんの方が働いています。シフト勤務なので、友達となかなか会うこともできず、まして人手不足で休みも取れず疲労とストレスが蓄積されます。それでも毎日職員は、一生懸命働いています。しかし、入社して数年すると仕事に対する情熱が持たなくなってしまう、離職するケースが多々あります。そうならないように職員とコミュニケーションを図り、仕事に対するモチベーションを維持することが、職場の上には求められます。この中で、世の中には、多種多様の職業があるのに、私が

なぜこの仕事を続けることができたのか考えるときに、目の前で人を支援でき、多少なりともその人の力になって、その人の人生に関わっていると実感できるからだと思います。これまで、多くの障害者とその家族に携わることができました。良い結果を迎えることができず、たケースは少しで、多くは後悔し、反省し、納得できないままに終わったような気がします。それでも、その貴重な出会いが自分に考える機会を与え、成長させてくれました。

福祉の仕事は、太陽と違って、月の光のように目立たないものかもしれませんが、それだけに社会的にもっと評価され、職員が仕事に対する意識を高く持てるようになればと思います。

今年一年が、「福祉の現場」にとって明るい年になることを期待したいと思います。



ボランティアの声

皆に感謝

伊豆ライフケアホーム
團栗ラニテア 岩崎とみ江



前列右

もう何年前の事だろうか？「園芸活動で人が足りないみたい」との一言。それが伊豆ライフケアホームに足を踏み入れるきっかけでした。

もともと花も土いじりも好きなので何という事無く今まで来ましたが、振り返ってみれば、皆と共に活動を通して色々な事を教えてもらいながら、私も植物と共に育ててもらったようです。本当に有難く思います。

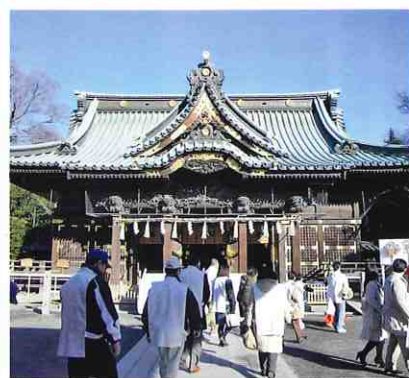
これからも皆と一緒に楽しく活動していけたらと思っています。

「安全祈願祭」

二〇〇九年一月五日新しい年を迎え、今年一年、利用者や職員の安全と健康を祈願するため初詣で賑わう三嶋大社で安全祈願祭を実施しました。

今年は世の中の不景気も手伝い、例年にも増して多くの参拝客で賑わっていました。

今年も理事長を始め、各施設長、代表職員がお祓いを受けてきました。今年一年皆様にとっても良い年でありますように。



セーフティチャレンジラリー一五〇

安全施策の一環として、昨年度から静岡県で実施している「セーフティチャレンジラリー一五〇」という交通安全施策に参加しています。

この施策は県内の各企業から運転免許を持った三人が一組となり参加し、その三人が一五〇日間無事故・無違反であれば、抽選により表彰されるものです。

チームの三人が無事故・無違反でなければ表彰されないことからお互いに安全に心がけ、安全意識の高揚が図れることから当会も参加しております。今年度は県下四万六一五三チームの中から当会の四チームが見事一次抽選を通過し二次抽選へ進みました。

これからも職員一人ひとりが交通安全に心がけて行くとともに、今回のコンテストでの上位入選を期待しています。

ご寄付ありがとうございました

【寄付金】

- (株)NTTクオリス
- (株)電電広告
- NTT東京電話帳(株)
- (株)中国広告通信社
- NTT関西電話帳(株)
- (株)データプラス

【寄贈品】

- 東静岡ヤクルト販売(株)